

# 平成29年度がんばる農家プラン事業 ～規模拡大による経営発展プラン～

作成年月 平成29年4月

作成者 株式会社神戸上農林

代表取締役 内田敦郎

## 規模拡大による経営発展プラン

作成者 (株) 神戸上農林 代表取締役 内田敦郎

事業主体 (株) 神戸上農林

### 1. はじめに（プラン作成に至った経緯）

平成 19 年より認定農業者となり、農作業受託を中心に地域の信頼を得ながら規模を着実に伸ばして平成 28 年 (株) 神戸上農林が農業認定事業体となり現在 (H29. 4) は水稲 28ha まで規模拡大してきました。

農作業を受けるにあたり、予想以上の高齢化、後継者不足により、拠点である石見地区以外の広範囲に及ぶ農作業受託を行っていましたが、徐々に耕作依頼が増え現在に至りますが、米価が下げ止まらない中で、今後もその動きはより加速をしようです。

そんな中、日南町でも仕事をして儲けることができる手段があることを実証するため、今後も更に規模を拡大して売上げを伸ばし、地域雇用などを進めながら経営発展をしていきたいと考えています。

### 2. 経営の現状分析

#### (1) 経営者の経験・実績

私は 20 代のころから個人経営で規模拡大を進めてきた実績があります。また、作業受託部門（農業・林業）の拡大により平成 23 年に株式会社神戸上農林を設立し地域雇用を行いながら、農林業の作業受託事業を行っています。

平成 28 年に個人事業を会社へ委譲し一本化しました。一本化に伴い効率の良い作業ができることによって、さらに発展していきたいと思っております。

#### ○過去の補助事業実績

平成 26 年度からがんばる農家プラン事業を活用し、現時点で目標達成済み。

目標達成率 水稲栽培面積 100% (H28 年 (最終年) 時点)

平成 26 年度	水稲育苗ハウス導入
平成 27 年度	色彩選別機導入
平成 28 年度	6 条刈コンバイン導入

#### ○認定農業者

平成 24 年度 日南町経営改善計画 認定 (内田敦郎)

平成 28 年度 日南町経営改善計画 認定 (株式会社神戸上農林)

(2) 経営環境

《経営規模》

	H26 (内田敦郎)	H27 (内田敦郎)	H28 (株)神戸上農林)	H29 (株)神戸上農林)
自作地	105 a	105 a	0 a	0 a
借入地	1,910 a	2,115 a	2,880 a	3,100 a
合計	2,015 a	2,220 a	2,880 a	3,100 a

《作目》

	H26	H27	H28	H29
水稲	1,715 a	1,920 a	2,480 a	2,700 a
そば	300 a	300 a	400 a	400 a

《年間作業スケジュール（農業部門）》

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稲	播種・育苗			耕転・代かき			防除			刈取り		
				田植え						運搬		
ソバ							鶏糞散布・ 額縁明渠			播種		
										収穫		

《施設・農業機械所有状況（平成29年4月現在）》

機械・施設名	台数	能力・年式等	導入 年度	備考
トラクター	2台	36ps 40ps	H17 H21	H21 チャレンジプラン事業
ドライブハロー	1台	300cm	H21	H21 チャレンジプラン事業
コンバイン	3台	4条 4条 6条	H19 H22 H28	H28 がんばる農家プラン事業
乗用田植機	2台	8条 6条	H25 H19	
積載車	1台	2t	H18	
ダンプトラック	2台		H22 H25	
動力噴霧器	1台	8ps		
育苗ハウス	7棟	20m×6m		H26がんばる農家プラン事業（内1棟分）
色彩選別機	1		H27	玄米用、6インチ
作業場			H17	
栗の木		約3ha分	S50	

### (3) 経営の問題・課題

#### ① 米の品質確保及び収穫量アップ

規模拡大に伴い、除草剤散布やイモチなどの適期防除が難しくなってきました。又、近年の温暖化の影響でイモチの発生率が高くなってきているため、さらに防除の徹底が必要になっています。現在は動力噴霧器（1台）での防除を行っていますが、1日に防除できる面積は限られていますし、天候に左右されるので適期に除草剤、防除ができないリスクを感じています。

### 3. プラン内容

#### (1) 取り組み方針

規模拡大において、H26年度より始まった農地中間管理事業へ受け手として応募をしており、東石見地区を中心に農地の集約を行います。実際に、高齢化や米価下落により農業をリタイアする声が聞かれ、規模拡大の見込みはあります。

今後は、地域住民との話し合いを進めて規模拡大に繋げていきます。また、農の雇用事業等を活用し、人材の確保にも努めていきます。

#### ① 米の品質確保及び収穫量アップ

規模拡大に伴い、除草剤散布やイモチなどの適期防除が難しくなってきました。さらに温暖化の影響でイモチの発生率が高くなっており、適期に防除ができないと米の収穫量も上がらず、米の品質にも影響が出る可能性があります。乗用管理機（ハイクリブーム）を導入することで作業時間短縮ができ、適期に除草剤散布、防除を行うことができるようになるので収穫量も確保でき品質の良い米を消費者にお届けする事ができます。

#### (2) 目標設定（生産・販売計画等）

（目標）

項目	現状 (H28)	1年目 (H29)	2年目 (H30)	3年目 (H31)	目標 (H32)
水稲栽培面積(a)	2,480	2,700	2,800	3,000	3,200

#### (3) 実施計画

##### 《機械・作物の年次別計画》

項目	内容	H29	H30	H31
乗用管理機の導入	作付面積増大による導入	◎		
育苗ハウスの導入	作付面積増大による導入		◎	
トラクターの導入	作付面積増大による導入			◎
地域住民との話し合い	集積に向けての話し合い	○	○	○

※◎は県、町の支援が必要なもの、○は事業主が実施

《支援事業の内容》

(1) 前回プランで導入したもの

平成 26 年度・実績

単位：円

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
水稻育苗ハウス	1,297,150	432,383	216,192	648,575

平成 27 年度・実績

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
色彩選別機及び導入工事	6,317,200	2,105,733	1,052,867	3,158,600

平成 28 年度・実績

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
6 条刈コンバイン	11,600,000	3,866,666	1,933,334	5,800,000

(2) 今回プランで導入するもの

平成 29 年度・計画

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
乗用管理機 (ハイクリブーム)	6,220,000	2,073,333	1,036,667	3,110,000

平成 30 年度・計画

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
育苗ハウス	1,678,528	559,509	279,755	839,264

平成 31 年度・計画

	事業費 (税抜)	県費 (1/3 以内)	町費	本人
トラクター	9,250,000	3,083,333	1,541,667	4,625,000

※本人部分は自己資金で対応する予定。

(3) 期待できる地域への効果

- ・規模拡大を進めることで、地域の農地荒廃を防ぐことができる。
- ・適期に防除ができるため他の圃場もイモチのリスクが減る。

4. 添付資料

- 資料 1：経営試算表
- 資料 2：導入機械カタログ、見積書